

山田京子の 議会報告

平成24年第1回定例会
2月20日～3月16日



3月16日、平成24年度の予算案が賛成多数で承認されました。一般会計、特別会計合わせて総額7,533億5,600万円。昨年度比3.7%の増です。これは、高齢化に伴い、介護保険や国民健康保険の事業費が膨らむことが大きな要因です。

両者とも料金の改定が提案され、皆さんの市民生活への影響を考えると厳しい選択でした。市民ネットワークとしては、円滑の運営のためにはいたしたくないと判断し、その他の議案を含め全議案に賛成しました。

ある日突然 家のそばに高層マンションが… あなたならどうしますか？

●「高度地区の見直し」継続審査に

マンション建設に際し近隣の住民から階数制限や、環境を守ることを求める陳情や請願がだされる例が、ここ数年、相次ぎました。

千葉市は、市街地の住環境の維持と秩序ある街並みの形成のため、最高高さの制限を高度地区(注)に導入する高度地区見直し案を作りました。国道14号及び357号線を境に、内陸部が20m(6階程度)、臨海部が31m(10階程度)を上限とするものです。

ところが、マンションの建替え時には、マンションを高くし、戸数を増すことで建設資金を生み出す方法が一般的に用いられており、それができなくなるのでは・と危機感を持った人々から、案に対し反対の請願が出され、継続審査となりました。

市はそれを受けて、案の修正を図り、既存の建築物の場合、1回の建て替えは同じ高さを認める、また、既存のマンションは見直しの対象としない(一部条件あり)修正案を追加し、さらにそれに対する意見を募集した結果、賛否双方の意見計358(団体も含む)が寄せられました。

3月議会では請願が再び、継続審査となり、市はさらに修正案を検討中です。

地域の問題は利害が拮抗し、どちらの意見も理解できる部分がありますが、マンション紛争をこれ以上増



やさないためにも、これから建てる建物については、「あらかじめの歯止めが必要」と市民ネットワークでは考えています。規制があることでバランスのとれた街並みが評価され、土地の価値が増すことも考えられます。

既存の建物の住人や業者との折り合いをどうつけるか、かなり厳しい課題ですが、皆さんはこの問題をどう考えるでしょうか？

(注…市街地の環境の維持、土地利用の増進のため都市の状況に応じて都市計画として最高又は最低限度の建築物の高さを制限した地区)

●紛争を未然に防ぐためには

地区計画が有効です。地区計画はたとえば建物の高さや最低面積など、都市計画としての街づくりのルールを地区住民と市が協力して決めていく制度です。地域の合意を得るには、時間とエネルギーが要ります。

自分の住まいがまず、どういう用途地域なのか、地区計画はすでにあるのかを知ることから始め、自治会などに働きかけて地区計画作りを進めましょう。

千葉市には、「やってみようよまちづくり支援制度」があり、講座やアドバイザー派遣、活動費助成が利用できます。

自分たちの地域は自分たちで作っていく意識がまず大切です。

「地区計画についての問合せ先…都市局都市部まちづくり推進課 電話245・5311」

知ってほしい 避難所の暮らし 女性の声



「仕切りのない避難所の暮らし」▶

東日本大震災の被災地を訪れた人から、女性への配慮が欠けた避難所運営がなされている事例をたくさん聞きました。

間仕切りが欲しくても、「ここはみな家族だ」と言って要望を受け入れてもらえない、更衣室・授乳室がない、トイレの前に男性がたむろしていやだと言えない、女性の洗濯物を干せない、性暴力があるが避難所に居られなくなるので言い出せない、男性はガレキ処理で賃金をもらえるのに、炊事は当然女性の仕事とされ、家計を担う女性でも無賃で毎日働き体調を崩す、…など、マスコミ報道では聞こえない実態がわかりました。

避難所の多くは男性がリーダーで、女性が避難所運営組織の中に入るのはむずかしく、見えないところで苦しんでいる人がたくさんいるのです。人口の半分を占める女性の声が反映されなければ、もっと少数の障がい者やマイノリティの声はなおさら届かないということです。

千葉市では、24年度中に地域防災計画の見直しを行います。女性の視点に立った防災計画検討委員会を立ち上げたらどうかと代表質疑で問いました。答弁では避難所運営委員会の委員に、女性委員を選ぶことや、防災会議の女性委員から意見を聞くなど、女性の視点に立った検討を進めていくとのことでした。

しかし、この程度では実際の現場はそんなにうまくいきません。

今年は各地域で避難所運営委員会の立ち上げが始まります。女性のみなさん、避難所運営委員になるなど、地域の防災対策にはぜひ積極的に関わっていきましょう。

国宝級を目指す 加曾利貝塚

- 地域おこしのチャンス! -



▲「加曾利貝塚公園内 縄文時代の復元住居完成(3月28日)」

加曾利貝塚は現在国の史跡ですが、**特別史跡**登録申請(平成27年度)を目指し、出土資料の再整理、報告書の作成を行うことになりました。貝塚で国の特別史跡になっているところは全国に無く、加曾利貝塚が登録されれば日本初となります。「史跡」は重要文化財級、「特別史跡」は**国宝級**とのことで、全国的に知名度が上がります。

加曾利貝塚は世界的な文化遺産であるにも関わらず、市民の認知度、博物館への力の入れ方において、今一つ物足りなさを感じていました。縄文時代からここに人がたくさん住んでいたという事は、若葉区がとても住みやすい地域であることの証明です。地元に関心と誇りを持ち、地域おこしや千葉市をアピールする絶好のチャンスです。

また、加曾利貝塚博物館は11月3日文化の日が休館です。これまでも何度か開館を求めてきた結果、予算委員会分科会で、文化の日の臨時開館を検討するとの答弁を得ました。市民を巻き込んで、地域おこしにつなげていけたらと思っています。皆さんからもいろいろなアイデアをお寄せください。

伝言板

おしゃべりサロン
「三」議会報告会 地域の課題などを話しましよう

●4月23日(月)13時半～15時半
レンタルサロン香温(かのん)

(若葉区小倉台2-7-8 モノレール小倉台駅より徒歩3分)にて

●4月25日(水)10時～12時
市民ネットワークちば

わかば事務所にて

●5月1日(火)15時～17時
ワークホームゆうゆう(若葉区千

城台西1-4-7 モノレール千城
台北駅より徒歩1分)にて

合同議会報告会

4月26日(木)13時半～

市民ネットワーク千葉県
4階会議室にて

申し込み先…市民ネットワークちば
わかば事務所 TEL284-2339